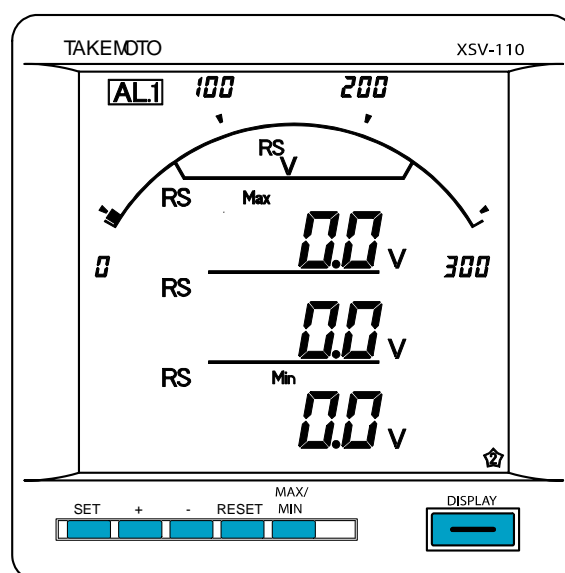


電子式マルチメータ

XSV-110 シリーズ

(Ver .)

取扱説明書



⚠️ ご注意

本体は精密機器ですので、落とさないようにして下さい。

本体を分解、改造はしないで下さい。

本体に雨水等が直接かからないようにして下さい。

本体の汚れ・ホコリ等を拭き取る場合は、乾いた布で拭きとって下さい。

汚れがひどい場合は、固く絞った濡れ雑巾で拭きとって下さい。

ベンジン・アルコール・シンナーは絶対に使用しないで下さい。

本体内にゴミ等が入る恐れがある作業を行なう場合は、本体にカバーをして異物が入らないようにして下さい。

本体を直射日光が当たる場所、温度の異常に高い場所・異常に低い場所、湿気や塵埃の多い場所へ設置しないで下さい。

端子台への配線は圧着端子を使用して確実に締めて下さい。

最大入力電圧値以上の入力を加えないで下さい。

制御電源が停電時は表示は消え、出力が0になります。

活線状態では端子部に手を触れないで下さい。感電の危険性が有ります。

活線状態ではV T 2 次側からの入力線は決してショート(短絡)しないで下さい。

通信線は動力ケーブル、高圧ケーブルと平行して設置せず、交差する場合も間隔を取って設置して下さい。

電圧入力端子のいずれかの端子のL側はアースに設置するようにして下さい。

本説明書には、オプション機能（御発注時の選択機能）もあわせて説明しています。搭載していない機能は設定無効

または、設定できませんので、御考慮いただきお読みいただきますようお願いいたします。

製品、及び、説明書は、改善・改良のために予告なく変更する場合があります。御了承ください。

【概要】

本メータは、指示計器と変換器を一体化し計測内容を一度に最大4要素（バーグラフ×1、デジタル×3）表示できる110mm角丸胴デジタル計器です。

【特徴】

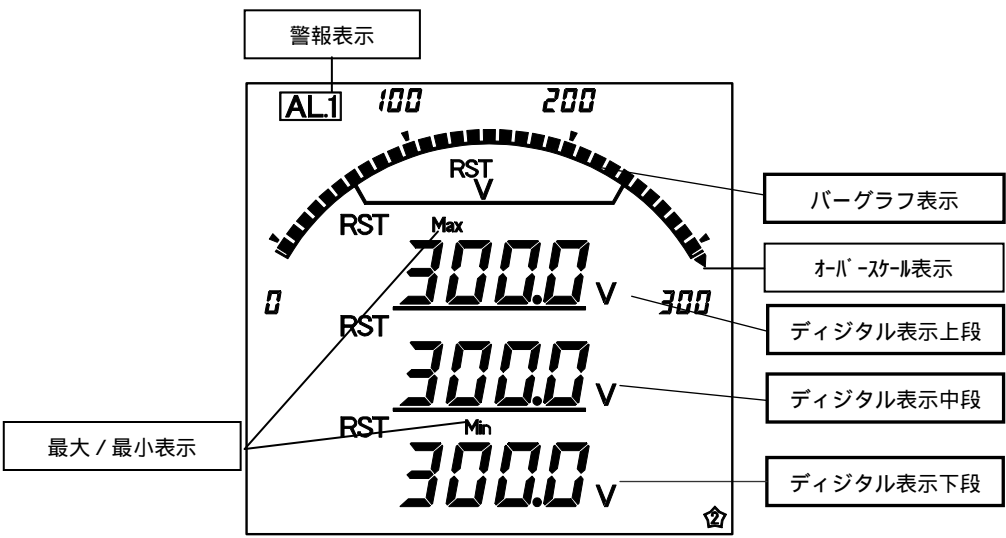
（標準搭載機能）

- ・ 4計測要素を同時表示可能。
- ・ バックライト自動消灯可能(設定により、常時点灯、常時消灯も選択できます)。
- ・ バックライト輝度調整可能。
- ・ VTの二次側電圧110V・220Vに対応

（オプション機能）

- ・ 外部リセット入力、警報出力×1点が搭載可能

【1】LCDパネル



バーグラフ表示

瞬時電圧値をバーグラフで表示します。
全部で31ドット表示のバーグラフです。

デジタル表示上段

最大電圧値をデジタル値で表示します。
デジタル表示上段の左上には表示している計測値の相を表示します。
デジタル表示の右側には単位を表示します。

デジタル表示中段

瞬時電圧値をデジタル値で表示します。
デジタル表示中段の左上には表示している計測値の相を表示します。
デジタル表示の右側には単位を表示します。

デジタル表示下段

最小電圧値をデジタル値で表示します。
デジタル表示中段の左上には表示している計測値の相を表示します。

オーバースケール表示

計測値が最大目盛値を上回ると点灯します。

警報表示

オプション選択で、警報出力付を選択した場合で、警報が発生した場合に点滅します。

最大/最小表示

最大値または、最小値を表示中点灯します。

【2】キー操作

計測表示状態で、

- [DISPLAY]キーを押すと計測表示の線間を切り替えます。
- [SET]キーを押し続けて間、デジタル表示の一次測定格値を表示します。
- [MAX/MIN]キーを押すと、最大値、最小値、瞬時値を切り替えて表示します。
- [SET] + [+]キーを同時長押しで、設定モードに切り替わります。(表示、VT一次定格等の設定値を行います。)
- [MAX/MIN] + [RESET]キーを同時長押しで、最大値、最小値、をゼロリセットします。

【3】設定モードについて

[SET] + [+]キー長押しで設定モードに切り替わります。
設定モードに切り替わりますとLCD表示の上に番号を表示しています。(設定モード最初はS01(表示 **S01**))
[+]、[-]キーを押すとS02、S06に変更できます。
次に[SET]キーを押すことにより、設定項目の表示に切り替わります。(例、S01 - 38(表示 **S01 - 38**))
ここで、[+]、[-]キーを押しますとS01 - 38、S01 - 40に変更できます。

【4】設定モードに流れ図で設定モードを説明しています。そちらもご参照ください。

表 1 設定番号表

設定番号	設定項目	初期値			
		単相2線	単相3線	三相3線	共通
S01-38	バックライト 点灯動作	自動消灯			
S01-40	バックライト 輝度調整	2			
S02-01	相線式	単相2線	単相3線	三相3線	三相3線
S02-07	電圧入力定格	220V(110V)			
S02-02	VT一次側定格値	220V(110V)			
S02-04	使用周波数	60Hz			
S06-03	警報出力1 項目	無			
S06-04	警報出力1 設定値	0			

【 4 】 設定方法

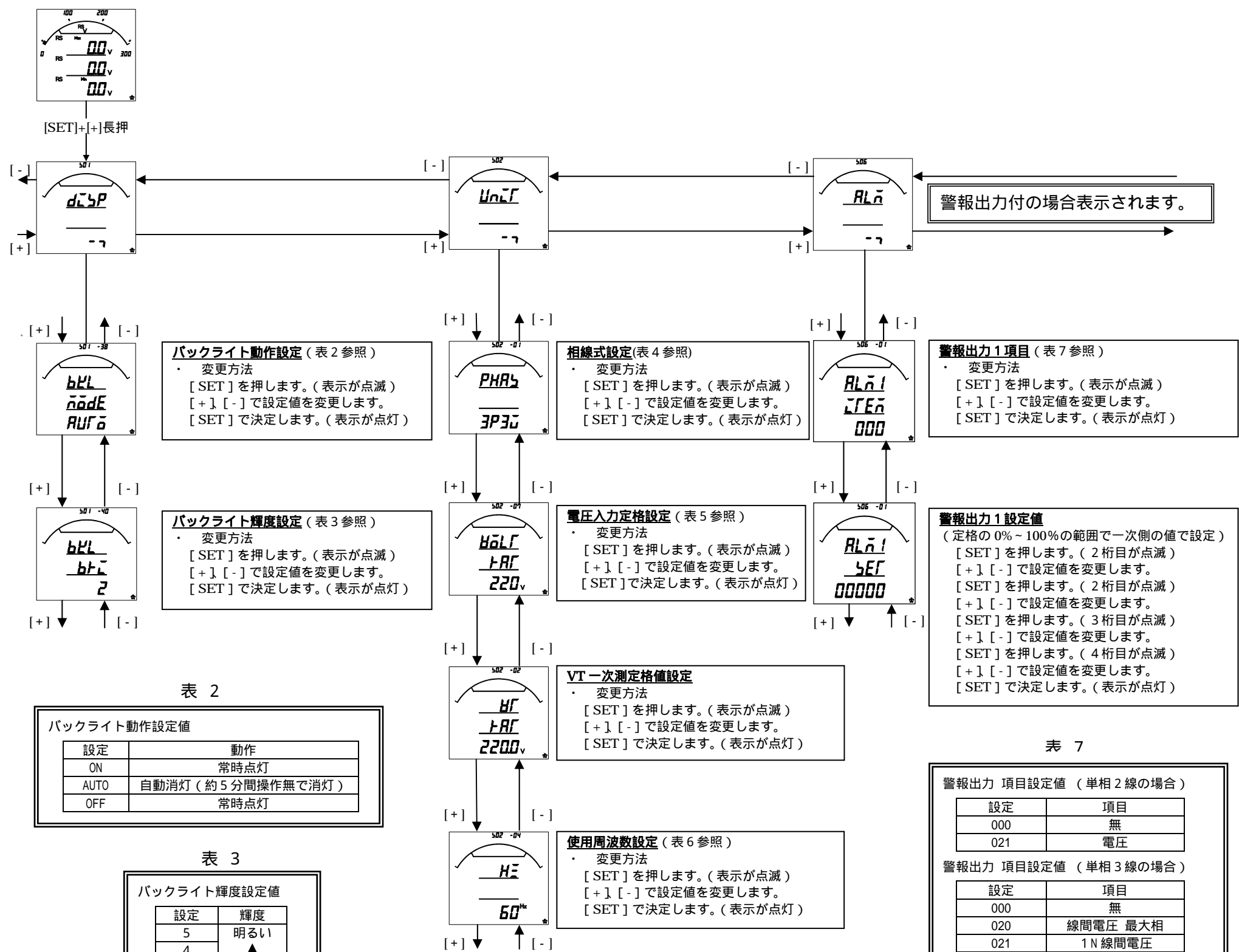


表 2

バックライト動作設定値	
設定	動作
ON	常時点灯
AUTO	自動消灯（約5分間操作無で消灯）
OFF	常時点灯

表 3

バックライト輝度設定値	
設定	輝度
5	明るい
4	↑ ↓
3	
2	
1	
	暗い



注意

相線式変更を行うと、他の設定が初期化(P.2)されますので、まず初めに相線式設定を行ってください。

表 8

設定変更の基本操作（格キーの動作）		
キー	表示中 （表示点灯）	設定変更中 （表示点灯）
SET	設定変更開始	設定変更決定
+	次の画面へ	線間電圧 +
-	前の画面へ	線間電圧 -
RESET	上の画面へ	設定をキャンセルし、上の画面へ
MAX/MIN	-	-
DISPLAY	計測画面へ	設定をキャンセルし、計測画面へ

表 4

相線式設定値	
表示	相線式
1P2W	単相2線
1P3W	単相3線
3P3W	三相3線

表 5

電圧入力定格値	
表示	定格値
110V	1 1 0 V
220V	2 2 0 V

表 6

使用周波数設定	
設定	使用周波数
60	6 0 Hz
50	5 0 Hz

表 7

警報出力 項目設定値（単相2線の場合）	
設定	項目
000	無
021	電圧
警報出力 項目設定値（単相3線の場合）	
設定	項目
000	無
020	線間電圧 最大相
021	1 N 線間電圧
022	2 N 線間電圧
023	1 2 線間電圧
警報出力 項目設定値（三相3線の場合）	
設定	項目
000	無
020	線間電圧 最大相
021	RS 線間電圧
022	ST 線間電圧
023	TR 線間電圧

表 9 文字表示パターン

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	b	C	d	E	F	G	H	i	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		\$	/	SP
L	L	n	n	o	P	q	r	s	r	U	u	U	u	Y	≡	S	Y	r	

品質・性能向上のため、記載内容はお断りなく変更することがありますので、ご了承下さい。



本社・工場 〒532 - 0027 大阪市淀川区田川3 - 5 - 11
TEL 06(6300)2112
FAX 06(6308)7766

東京支店 〒166 - 0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷南3 - 12 - 9
TEL 03(3392)6311
FAX 03(3392)7151